

慶雲寺報

NEWS

* 施食会から年越し

栃木県内も緊急事態宣言対象となるなど、感染防止に気を払う冬でした。

例年11月16日に勤められている施食会も、堂内の密と塔婆配布時の密という《2つの密》を避けるため、参列者は新亡精霊施主家のみとし、お塔婆受けも支部別時間帯指定の形をとらせていただきます。

多くの方々にご参列いただけなかったのは、寺を護る者として甚だ心苦しかったです。皆様のご理解ご協力により無事勤めることができました。

* * *

新年明けて、1月16日の年始受法要も、堂内の《密》を避けることは難しいため、随時参拝(御札納め・年始参り)の形といたしました。

「不安が渦巻くコロナ期だからこそ、ご本尊様にお参りし、皆様に大般若経の功德の風をお分けするのが菩提寺としての務め」という思いは、最後まで拭きませんでした。暮れから年頭にかけての感染者数の急上昇を見ると、致し方ない対応だったのではないかと感じております。



☆法要時の準備品☆

再掲となりますが、ご法事の際の準備品をご案内いたします。左記のような思いを込めて、ご準備いただけますれば幸いです。

① 生花

ご先祖様に彩りを添えるべく、みずみずしいものをお供えしましょう。一對でも一束でも結構です。

② 供物

菓子や果物をお供えいただいております。生前好きだったものがよろしいでしょう。市販のものでなく、手作りのものや自家の田畑に実った作物等でも結構です。

③ 御布施／塔婆代

金額についての問い合わせがありますが、すべてご当家にお任せしております。お布施は決して「料金」ではなく、ご先祖様に寄せる「まごころ」を金子(きんす)に変えたものです。

より心を込めてご供養するには…

▼お位牌

お仏壇でおまつりしているお位牌をお持ちいただければ、本尊様の前にお飾りしてお勤めいたします。

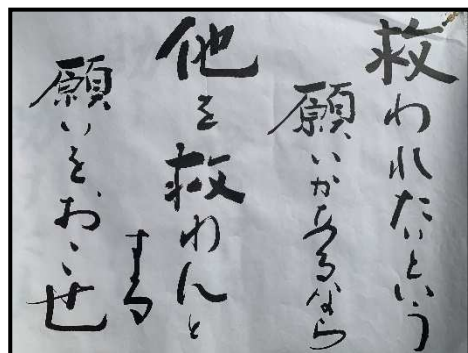
▼ろうそく

仏前に灯明を供えることは、功德あることと言われているとされます。大きめの物(30号、60号サイズ)をご用意いただければ、お持ちいただいた新しいろうそくを灯してお勤めいたします。

※その他ご不明な点、および四十九日法要／開眼法要などは、随時お問い合わせください。

◎伝道揭示板から

私たちの心には「自分だけが良ければいい」とする《利己の心》と、コロナウイルス対応の医療従事者の皆様しかり、豪雨や地震などの災害しかり、「自分を犠牲にしても他の人を助けよう」という《利他の心》があります。



前者の《利己の心》ばかり振りかざしていると、自分のことしか考えていないので、誰の協力も得られません。自分中心ですから視野も狭くなり、間違った判断に陥りやすくなるでしょう。

一方、後者の《利他の心》は、他人によかれという心なので、視野も広くなり、正しい判断につながり、周りの人みんなが協力してくれることになるでしょう。

《利己》も《利他》も生きていくためにはどちらも必要な心のありようかもしれません。情けは人の為ならず。「自分だけが…」の心を制御しながら、「みんなでこやかに…」となれるよう、心を養って行きましょう。

▼令和2年度護持会決算

別紙決算書の通り、1月31日開催の役員会にて承認されました。ご報告申し上げます。新年度会費につきましても、3月末日までに納入をお願いします。